M型 スマートフラット	下　地	留付方法	張り方向	木胴縁組
	木造軸組下地	釘	横	縦胴縁 @500㎜以下

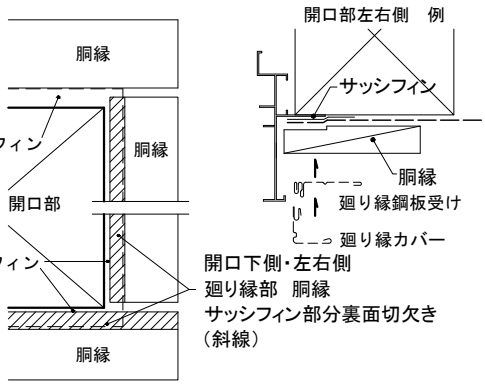
8）開口部

⑧廻り縁納め

■施工方法および施工手順（縦張り／横張り）　※　胴縁仕様および廻り縁カバーの設定があるセンターサイディングに適用

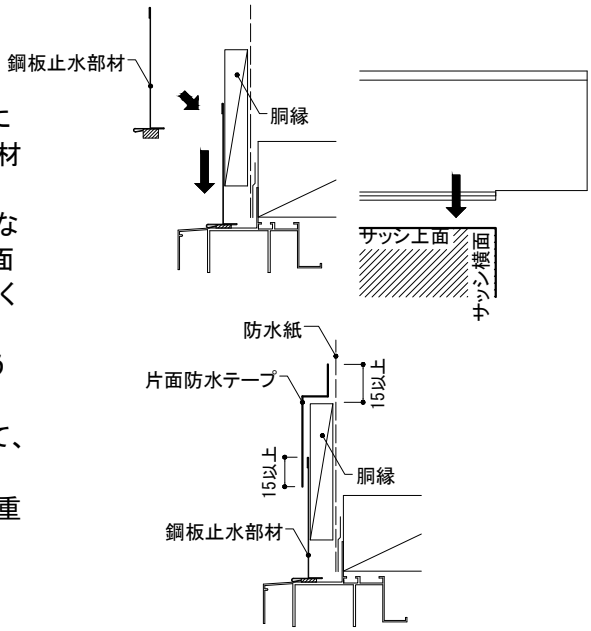
手順1　防水紙・胴縁の施工

●開口部まわりには、両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
●開口部まわりの胴縁は、幅90㎜サイズを使用します。
●開口上側の胴縁は、サッシフィンを避けて（サッシと胴縁が20～30㎜程度離れている状態）施工してください。
●開口左右側・開口下側の胴縁は、サッシフィン部分を切欠いてサッシに近づけて施工します。（廻り縁鋼板受け端部が浮いた状態だと、廻り縁カバーを取り付けにくくなるため。）



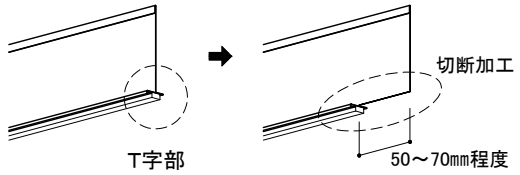
手順2　鋼板止水部材（上側）の施工

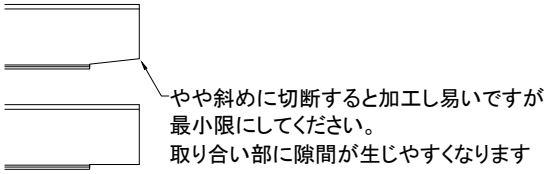
●開口上側に鋼板止水部材を取り付けます。
●鋼板止水部材の両端T字部を、サッシ横の面にあわせ切断加工します。（鋼板止水部材の加工方法　参照）
●EPDM材が十分圧縮されるように、部材をサッシ面に押しつけながら胴縁に留め付けます。（鋼板止水部材の留め付け　参照）
●開口上側の鋼板止水部材は、EPDM部の見掛けがなるべく小さくなるよう留め付けてください。（サッシ上面が傾斜している場合は、EPDM部の見え掛けが大きくなりますのでご了承ください。）
※開口上側の鋼板止水部材は、継ぎ施工をしないよう1本の部材で施工してください。
●開口上側の鋼板止水部材～胴縁～防水紙に掛けて、片面防水テープ（100㎜幅）を施工します。
●片面防水テープは、止水部材・防水紙に15㎜以上重なるように貼り付けます。
※隙間の出ないよう十分に貼り付けてください。



＜鋼板止水部材の加工方法＞

●鋼板止水部材の両側のT字部を指定位置で切断加工します。（加工部の長さは50～70㎜程度としてください。）





＜鋼板止水部材の留め付け＞

●EPDM材が十分圧縮されるように部材をサッシ面に押しつけながら、胴縁に留め付けます。
●専用釘（ステンレスリング釘φ2．3㎜×38㎜）釘にて@455㎜以下かつEPDM部が浮く場合は適宜増し留めしてください。

